



Dora del Hoyo

ドラ・デル・オヨ

私的信心の祈り

主なる神よ、あなたは、幸いなおとめマリアがナザレの家庭で従事なさったのと同じ仕事に携わるようドラをお呼びになりました。聖ホセマリアの教えに従って、ドラが喜びに満ちた献身的な仕事ぶりで実現させたように、私も日々の様々な状況の中で、あなたに出会い、暖かい家庭の雰囲気周囲に広めることができるようお助けください。あなたのしもべドラに栄光をお与えください。その取り次ぎによって、私の願い(ここでお願いする)をお聴きいれください。 アーメン。

主の祈り・聖母マリアへの祈り・栄唱

神にとって、それ自体が立派だとか、つまらないとか言える仕事はない。どのような仕事にも、それを果たすにあたって注ぐ愛と同じ値打ちがある。

(聖ホセマリア・エスクリバー、『拓』487)

ドラ・デル・オヨアロンソは、1914年1月11日、ボカ・デ・ウエルガノ(スペインのレオン県)に生まれる。模範的なキリスト者であった両親は、幼少時から彼女が神のよい娘になるように育てた。

1946年3月14日、ビルバオで、オプス・デイに所属することを願い出たドラは、最初の瞬間から神の召し出しに忠実であった。特にご聖体への信仰の篤いドラにとって、ミサ聖祭は内的生活の中心であり源泉であった。聖母マリアと聖ヨセフを心から愛し、また守護の天使の助けに深い信頼を寄せていた。1946年12月27日、聖ホセマリアの招きに応じてローマに赴き、残りの生涯をローマで過ごす。

仕える精神と職業面の高い能力を備え、一つひとつの平凡な行いに隠された聖化と使徒職に関する意味を見つけることのできる女性だった。ローマから、世界中の女性の形成に協力し、あらゆる社会環境の中で推進されているオプス・デイの使徒職に貢献した。

2004年1月10日帰天。ドラの遺体は平和の聖マリア属人区長教会(Viale Bruno Buozzi, 75, Roma)地下墓所に安置されている。

教皇ウルバノ八世の教令に従い、教会当局の判断を予想したいかなる事前行為をも行う意図のないこと、また、表記の祈りは公的崇拜のためではないことを宣言します。

彼女の取次ぎによって恵みを得た方は、
オプス・デイ属人区までご連絡ください。

〒659-0095 芦屋市東芦屋町12-12 「ハウス104」

Eメール: info@opusdei.jp